

2021年3月期 決算短信補足資料

2021年4月28日(水)

【名証2部】 証券コード:6111

 旭精機工業株式会社

売上高は、下期以降、精密金属加工品及びプレス機械を中心に回復基調で推移したものの、上期(第2四半期累計期間)までの減少及び利益面での損失を補填するまでには至らず、前期比▲15.7%の117億5千6百万円となりました。

精密金属加工品:35億4千3百万円(▲13.6%)

✓ 自動車関連部品の減少

小口径銃弾:33億2千1百万円(+0.7%)

✓ 政府の予算執行を受け、増加

プレス機械:36億3千9百万円(▲12.9%)

✓ リチウムイオン電池缶製造用プレスの減少

自動機・専用機:5億5千2百万円(▲25.8%)

✓ 自動車関連向けの減少

ばね機械:3億1千6百万円(▲58.8%)

✓ 顧客からの受注停滞による減少

航空機部品:3億6千5百万円(▲51.9%)

✓ 旅客機の減産の影響による減少

()は前期比

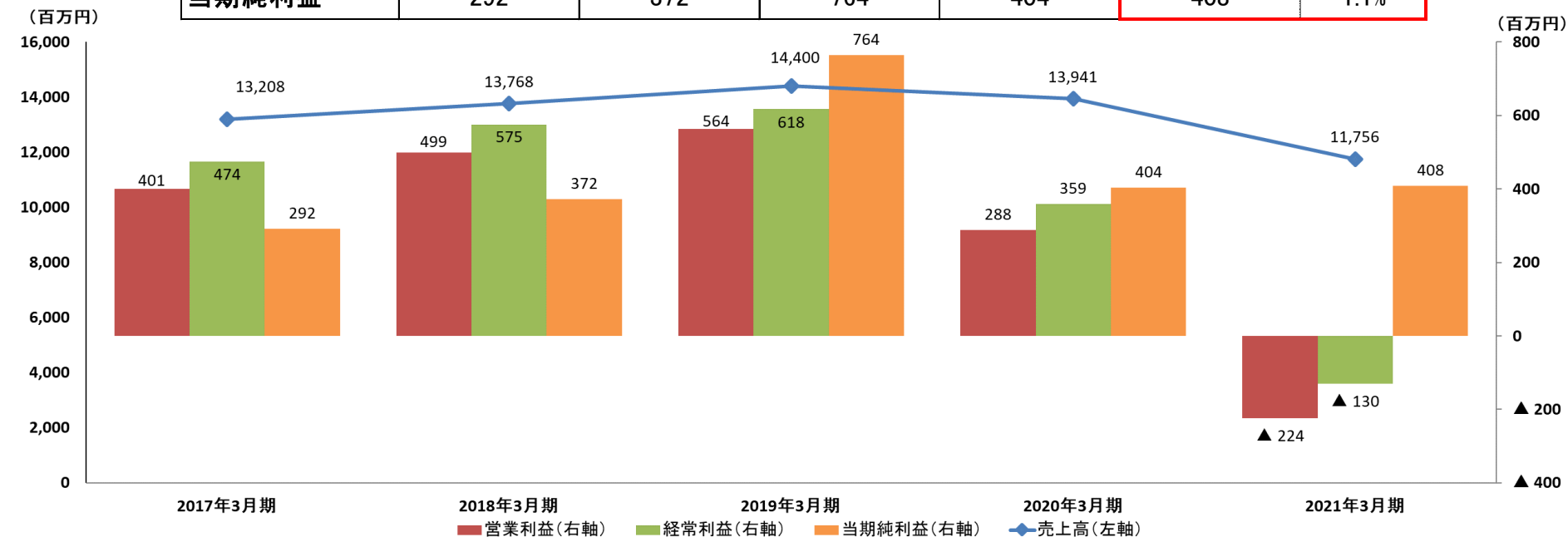
2021年3月期 全社業績概況

(単位:百万円)	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	前年比
売上高	13,208	13,768	14,400	13,941	11,756	▲ 15.7%
営業利益	401	499	564	288	▲ 224	—
経常利益	474	575	618	359	▲ 130	—
当期純利益	292	372	764	404	408	1.1%
1株当たり 当期純利益	102円87銭	130円82銭	308円38銭	167円73銭	169円71銭	—
1株当たり 配当金	6円00銭	70円00銭	70円00銭	70円00銭	70円00銭	—
配当性向	58.3%	53.5%	22.7%	41.7%	41.2%	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
株式併合後の基準で換算した2017年3月期の1株当たり期末配当金については、60円となります。

2021年3月期 売上高・利益推移

(単位:百万円)	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	前年比
売上高	13,208	13,768	14,400	13,941	11,756	▲ 15.7%
営業利益	401	499	564	288	▲ 224	—
経常利益	474	575	618	359	▲ 130	—
当期純利益	292	372	764	404	408	1.1%

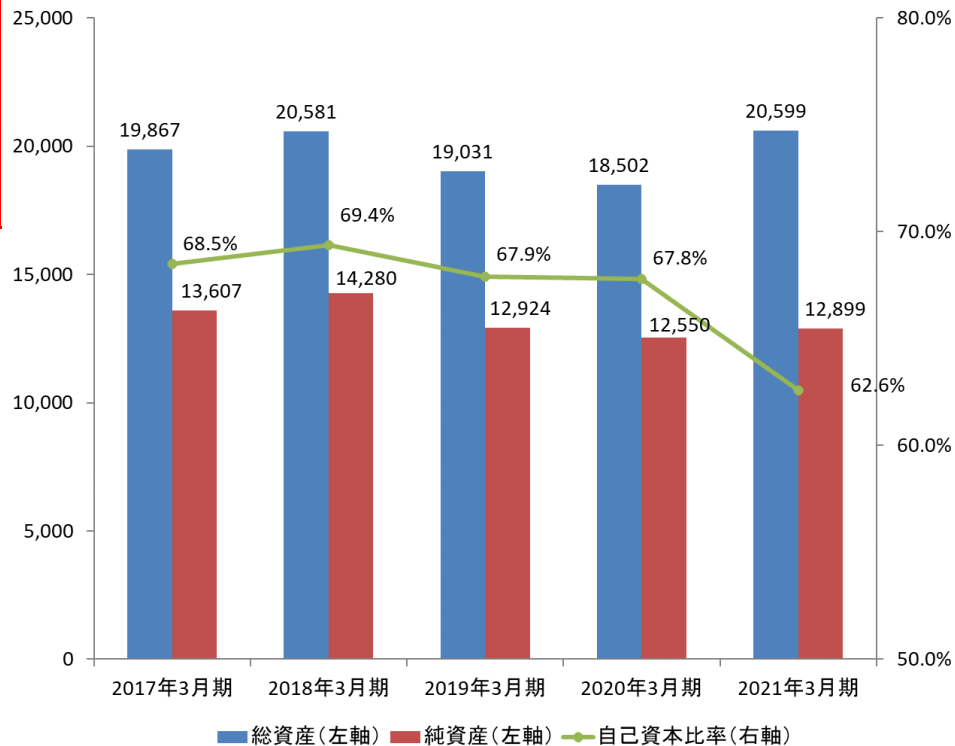


(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
総資産	19,867	20,581	19,031	18,502	20,599
純資産	13,607	14,280	12,924	12,550	12,899
自己資本比率	68.5%	69.4%	67.9%	67.8%	62.6%
1株当たり純資産(円)	4,784円63銭	5,022円56銭	5,358円83銭	5,207円56銭	5,353円44銭

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(百万円)



資産、負債及び純資産の状況

(資産) : 205億9千9百万円、前期末比20億9千7百万円増加

✓ 主に、流動資産では、売掛金が2億2百万円減少したものの、現金及び預金が27億3千5百万円増加、
固定資産では、建設仮勘定が1億5千9百万円増加したものの、機械及び装置が3億9千3百万円減少。

(負債) : 77億円、前期末比17億4千8百万円増加

✓ 主に、流動負債では、短期借入金が12億3千万円増加、固定負債では、退職給付引当金が6千1百万円増加。

(純資産) : 128億9千9百万円、前期末比3億4千8百万円増加

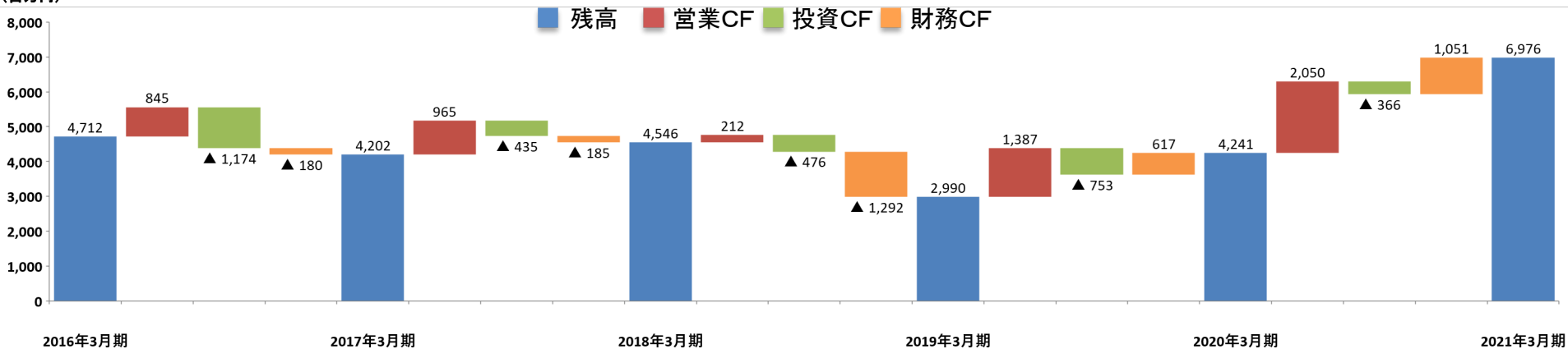
✓ 主に、その他有価証券評価差額金が1億9百万円増加。

2021年3月期 キャッシュ・フロー推移

(単位: 百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	845	965	212	1,387	2,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,174	▲ 435	▲ 476	▲ 753	▲ 366
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 180	▲ 185	▲ 1,292	617	1,051
現金及び現金同等物の期首残高	4,712	4,202	4,546	2,990	4,241
現金及び現金同等物の期末残高	4,202	4,546	2,990	4,241	6,976

(百万円)



キャッシュフロー状況

当事業年度における現金及び現金同等物は69億7千6百万円、前期末比27億3千5百万円増加

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前年期末より主に、売上債権が2億3千5百万円減少したこと、減価償却費で8億1千8百万円及び税引前当期純利益で5億9千3百万円計上。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前年期末より主に、投資有価証券の売却により1億8千2百万円増加したものの、有形固定資産の取得で6億5千7百万円支出。

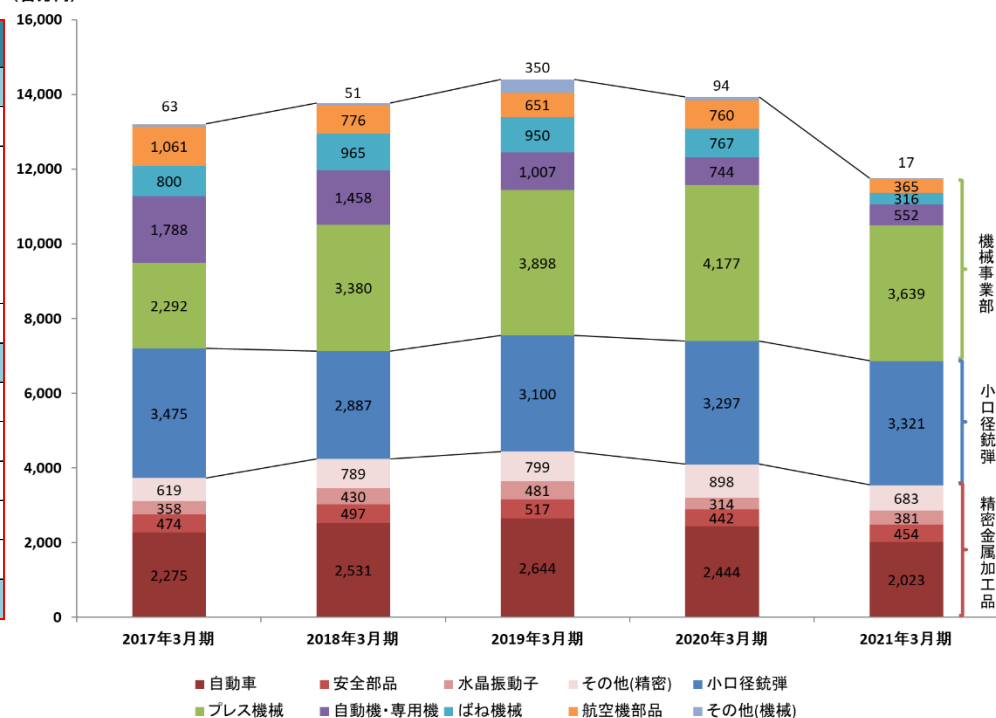
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前年期末より主に、配当金で1億6千8百万円支出したものの、短期借入金で12億3千万円増加。

2021年3月期 セグメント別売上高推移

(単位: 百万円)	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	前年比
精密加工事業部	7,202	7,135	7,542	7,397	6,865	▲ 7.2%
精密金属加工品	3,727	4,247	4,442	4,099	3,543	▲ 13.8%
自動車	2,275	2,531	2,644	2,444	2,023	▲ 17.2%
安全部品	474	497	517	442	454	2.7%
水晶振動子	358	430	481	314	381	21.6%
その他(精密)	619	789	799	898	683	▲ 23.9%
小口径銃弾	3,475	2,887	3,100	3,297	3,321	0.7%
機械事業部	6,005	6,633	6,857	6,544	4,891	▲ 25.3%
プレス機械	2,292	3,380	3,898	4,177	3,639	▲ 12.9%
自動機・専用機	1,788	1,458	1,007	744	552	▲ 25.8%
ばね機械	800	965	950	767	316	▲ 58.8%
航空機部品	1,061	776	651	760	365	▲ 51.9%
その他(機械)	63	51	350	94	17	▲ 81.8%
合計	13,208	13,768	14,400	13,941	11,756	▲ 15.7%

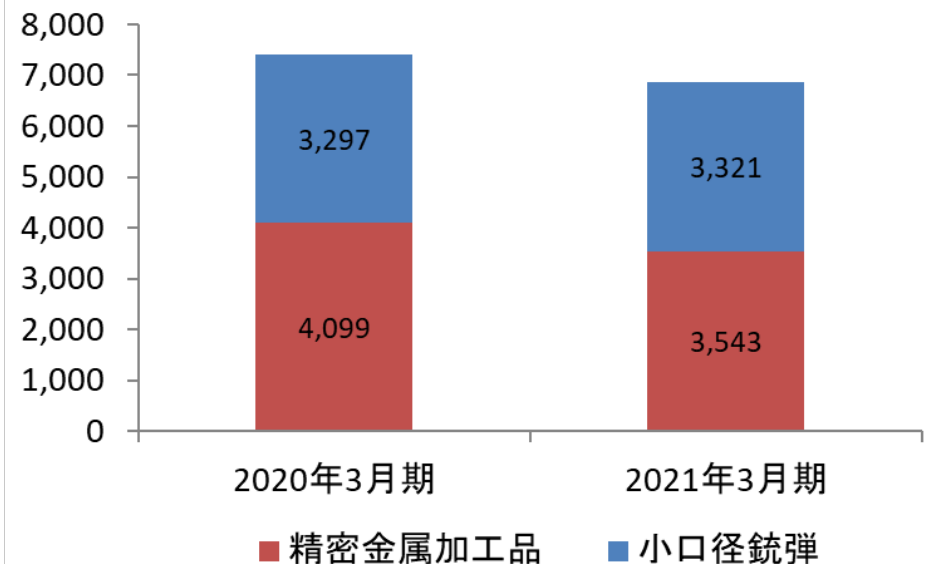
(百万円)



(単位:百万円)

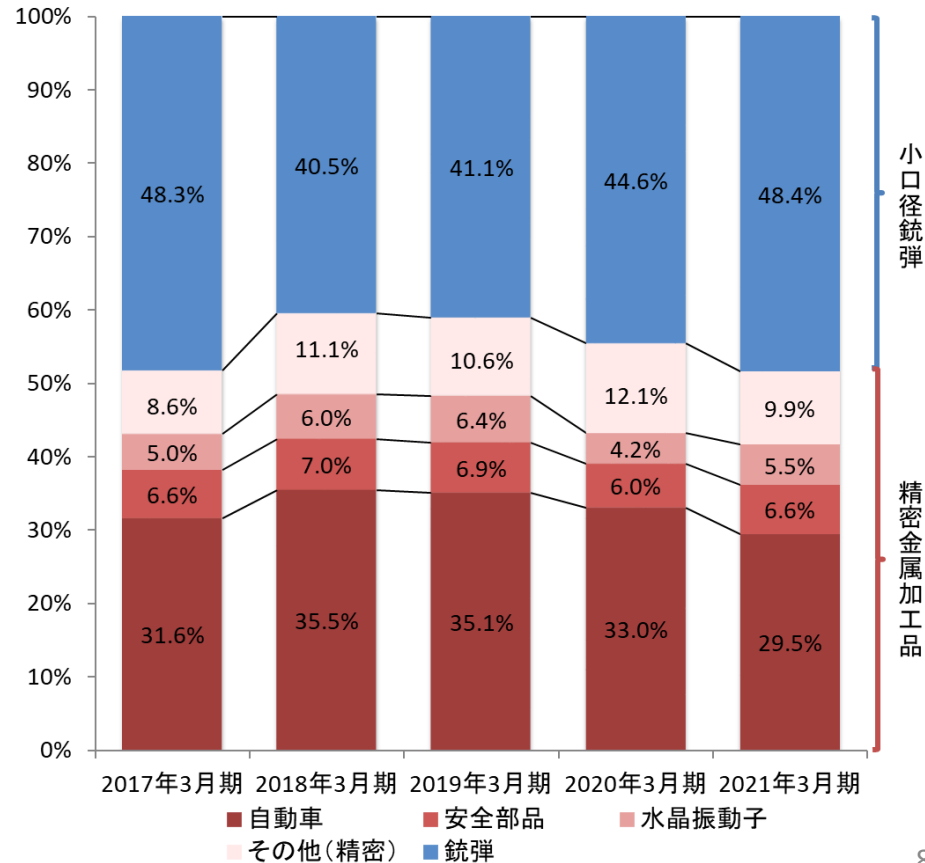
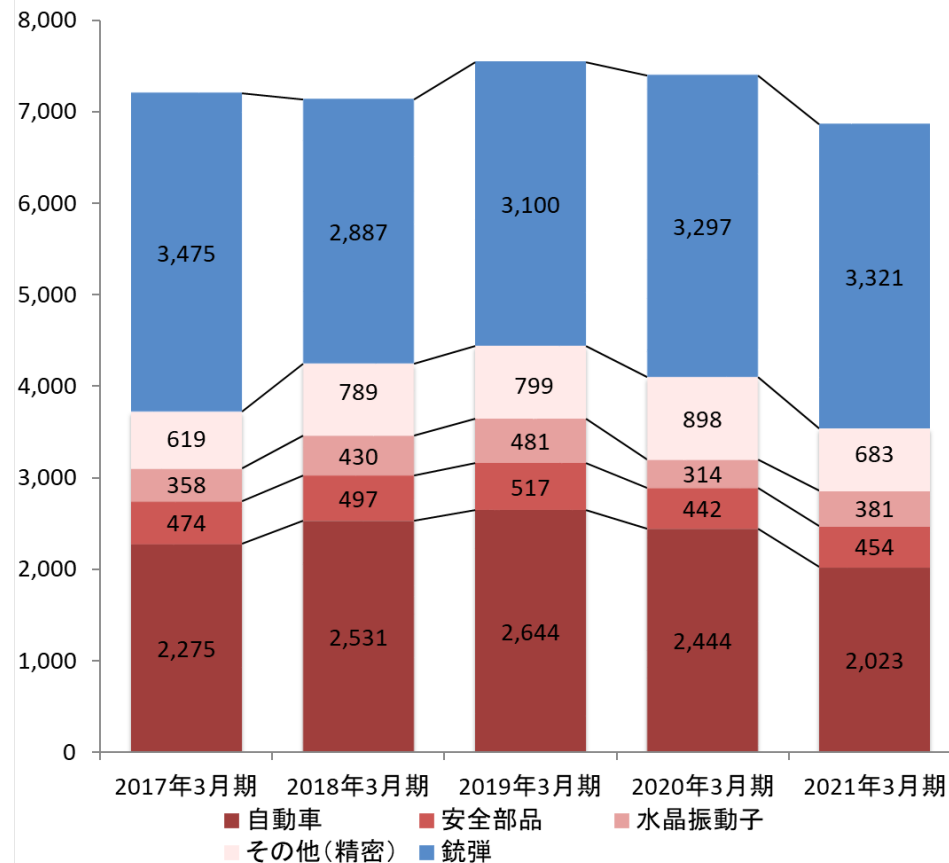
	2020年3月期	2021年3月期
精密金属加工品	4,099	3,543
小口径銃弾	3,297	3,321
合計	7,397	6,865

(百万円)



2021年3月期 精密加工事業部 売上推移及び構成比

(百万円)

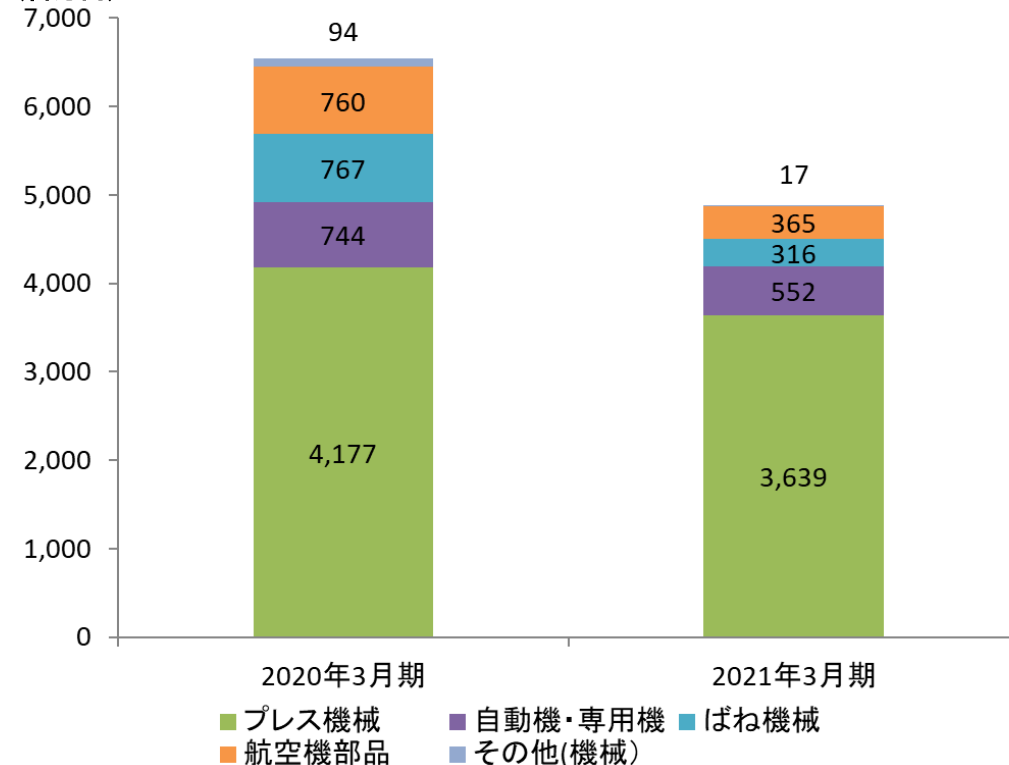


2021年3月期 機械事業部 事業部別業績概況

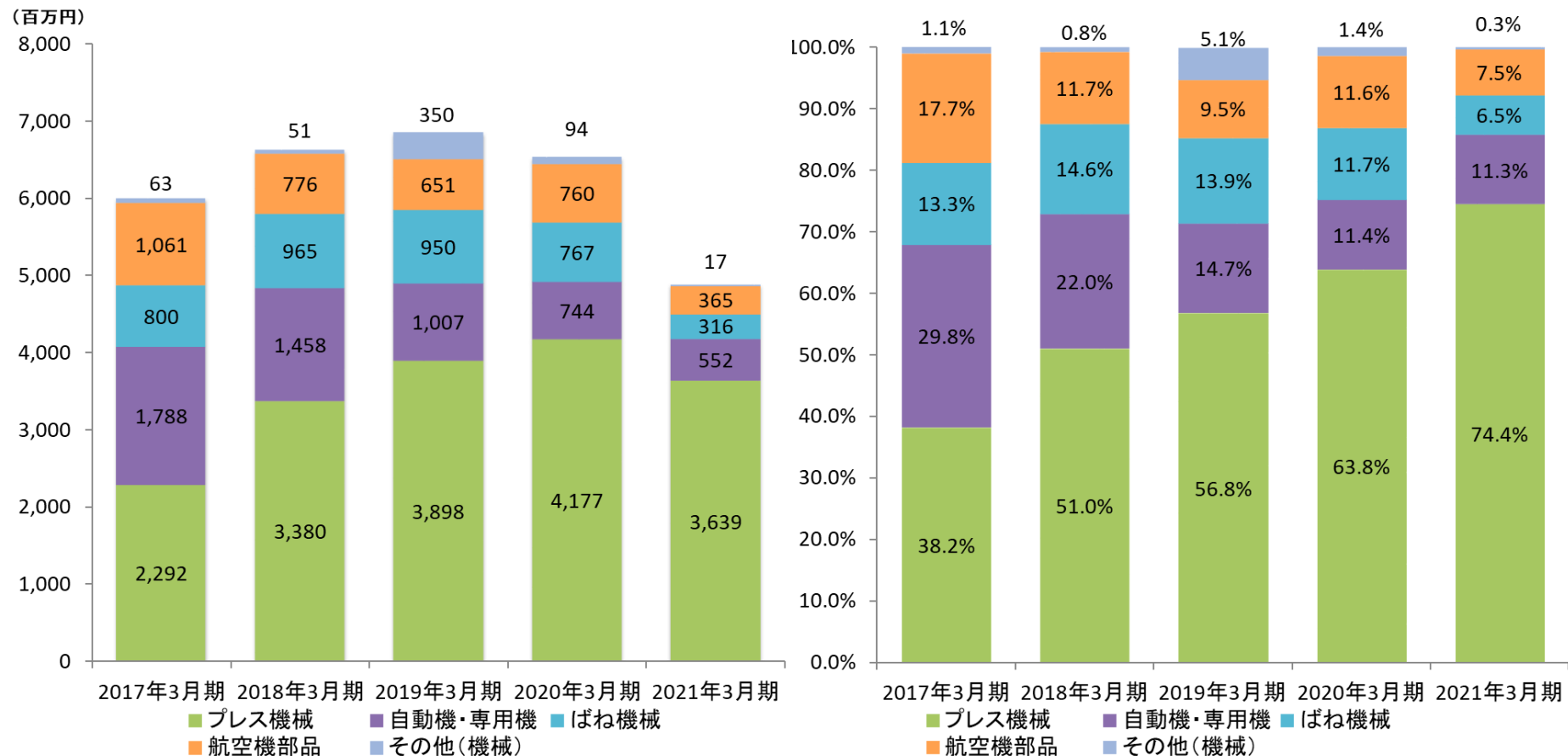
(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期
プレス機械	4,177	3,639
自動機・専用機	744	552
ばね機械	767	316
航空機部品	760	365
その他(機械)	94	17
合計	6,544	4,891

(百万円)



2021年3月期 機械事業部 売上推移及び構成比



(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)	前年比
売上高	13,768	14,400	13,941	11,756	13,300	13.1%
営業利益	499	564	288	▲ 224	400	—
経常利益	575	618	359	▲ 130	440	—
当期純利益	372	764	404	408	290	▲ 29.1%
1株当たり当期純利益	130円82銭	308円38銭	167円73銭	169円71銭	120円36銭	—
1株当たり配当金	70円00銭	70円00銭	70円00銭	70円00銭	70円00銭	—
配当性向	53.5%	22.7%	41.7%	41.2%	58.2%	—

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

セグメント別売上高及び設備投資・減価償却費予想

セグメント別売上高推移及び予想

(単位: 百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)	前年比
精密加工事業部	7,135	7,542	7,397	6,865	7,350	7.1%
精密金属加工品	4,247	4,442	4,099	3,543	4,350	22.8%
小口径銃弾	2,887	3,100	3,297	3,321	3,000	▲ 9.7%
機械事業部	6,633	6,857	6,544	4,891	5,950	21.7%
プレス機械	3,380	3,898	4,177	3,639	4,600	26.4%
自動機・専用機	1,458	1,007	744	552	500	▲ 9.4%
ばね機械	965	950	767	316	600	89.9%
航空機部品	776	651	760	365	200	▲ 45.2%
その他(機械)	51	350	94	17	50	194.1%
合計	13,768	14,400	13,941	11,756	13,300	13.1%

設備投資(工事ベース)・減価償却費の推移及び予想

(単位: 百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
設備投資	655	1,487	995	599	345
減価償却費	723	771	814	818	796

Topic 1. 地域貢献活動

2020年6月18日に当社及び「あさひ愛の基金*」は地域貢献活動の一貫として、尾張旭市がコロナウイルス感染症拡大により困っている方々や医療従事者、保健師、救急隊員等、最前線で働く方々を支援する目的として創設しました「尾張旭市新型コロナウイルス感染症対策寄附金」へ寄附を行いました。

*当社社員の有志約80名が参加

(ご参考)地域貢献活動としては、前年度にも尾張旭市立藤池保育園にアップライトピアノを寄贈しております。



(尾張旭市への寄附)

Topic 2. 産学行政連携による共同研究

①純鉄の加工と熱処理が成形品の集合組織に及ぼす影響の研究

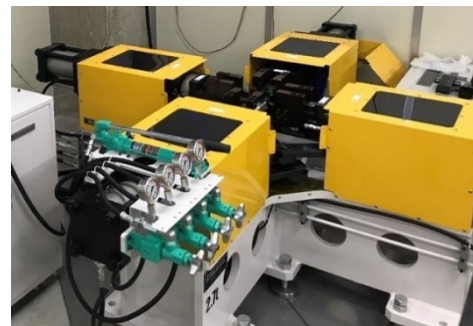
(内容):ある特殊な条件下で処理された材料内部の集合組織においては、加工ひずみが蓄積されても磁気特性は悪化せず、これを応用しプレスを用いた絞り製品の磁気特性向上を目指している。

(名古屋大学との共同研究)

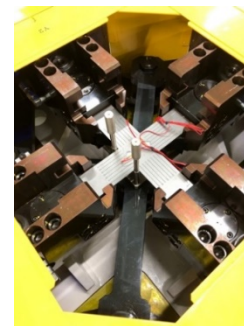
②大規模材料データ及びCAE (Computer Aided Engineering)による自動車向け設計生産技術の研究

(内容):二軸引張試験機での試験により、実際に近いプレス製造加工状態を表現でき、従来よりも多くの解析パラメータの取得が可能となった。これにより製造シミュレーションの精度向上が期待できる。

(知の拠点あいち重点研究プロジェクトに参加)



(二軸引張試験機)



(引張試験の様子)

Possibility

Technology opening up new possibilities



IRに関するお問い合わせ先
旭精機工業株式会社 経営企画・IR室
TEL:0561-52-5356

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。